

教科「地理歴史」

科目「日本史B」

類型（2年文型 世界史Bとの選択）

単位数	4
担当者	森谷昌央
教科書	改訂版 詳説日本史B（山川出版）
副教材等	最新 日本史図表（第一学習社） 要点整理 ゼミナール日本史（浜島書店）

【1】科目の目標

日本の歴史の展開を地政学や周辺諸国の歴史と関連付け、現代の日本が直面している領土問題などの国際的課題に着目して考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせ、歴史的思考力と共に、国際社会に対し日本人として主張できる自覚と資質を養う。

【2】科目の内容と進め方

- 1 学期 江戸時代（天保期）～大正デモクラシー
- 2 学期 政党内閣の成立～1980年代の政治
- 3 学期 原始時代（旧石器時代・縄文時代）～平安時代初期の文化

【3】学習形態

教室での一斉授業。

【4】学習上の留意点

基本的に自分から調べる姿勢が大切である。主体的に教科書・資料集・用語集などを使いながら学習を進めて行く。

また現在の日本を取り巻く国際情勢などを題材として、なぜそのような状況にあるのか、日本はどうすべきなのかなどを自分の立場からも表現できるようにする。

復習を中心にし、教科書や授業ノート、まとめプリント、ワークノートを活用して知識の定着を図る。

【5】評価の方法と評価の観点

①評価の観点

- 1 【関心・意欲・態度】実際の事件や領土問題を題材に対し、自分に関わる出来事としてとらえ、主体的に考察することができるか。
- 2 【思考・判断・表現】国際的な日本の立場を自ら考察し、その過程や結果を自分の言葉で適切に表現することができるか。
- 3 【資料活用の技能】授業で扱う地図資料・史料・絵画資料等を多角的・多面的に考察し、正確に解釈することができるか。
- 4 【知識・理解】現在の日本が直面する国際情勢がどのように成立したのか、その時代背景や地政学的な背景について理解することができたか。

②評価の方法

- 1 授業での学習活動や家庭での復習などを、授業ノートやワークノートへの取り組み状況を見て評価する。
- 2 定期テストや課題テストを通じて、系統立った知識が身についているか評価する。

【6】その他 特記事項なし。